

## 第20回循環型廃棄物処理施設対策本部会議 記録

日時：平成13年12月14日（金）午後 1:00～2:45

場所：庁議室

出席者：助役、収入役、庁議5部長、企画調整課長、青島（記）

検討内容：

候補地を助宗地区とすることについて、関係機関への報告について確認。

結果：

### (1)当面のスケジュールの確認

12/19 午前 9:00～ 藤枝市議会 代表者会議へ報告  
終了後                   "           藤枝市志広組議員へ報告  
午前 11:00～ 志広組理事会へ報告、正式決定  
12/21 午前 9:00～ 志広組議会 後全協にて報告  
午後 1:00～ 志広組にて記者発表  
午後 5:00～ 助宗地区役員へあいさつ（管理者、松野市長）

### (2)報告用原稿の確認

表現としては、原案どおりで問題はない。

用地選定の細かい経過については、質問の中で求められれば説明することとし、具体的な地区名については、それぞれの地区への影響も大きいので差し控える。あくまでも、段階ごとの選定要件と削除した理由を説明するに留める。

地元への報告については、事前の了解なしにお願いすることであり、順としてはその決定をした藤枝市長が先にあいさつすることで管理者にも了解を得る。

### (3)今後の体制

当面の対応としては、助宗地区に対しては企画調整課が中心になり、一方の高柳との延長継続に関しては生活環境課が交渉の窓口になることで分担していく。

志広組計画課についても、それぞれの立場で対応してもらうことは当然である。

### (4)その他

高柳地区の関係について（環境経済部長）

10月の時点で延長交渉を申し入れたが預かりの形になっている。

今後の対応については、仕切直しという言い方で単なる延長としては考えないという姿勢であり、12/21の発表を受けて、管理者が改めて出向くことになるが、相当厳しい

交渉が予想される。

仕切直しということで、新たな条件の要求も出てくると思われる。

(以 上)

循環型廃棄物処理施設建設候補地の選定について (案)

循環型廃棄物処理施設の建設用地につきましては、志太広域事務組合からの要請を受け、本年4月以降慎重に検討を重ねてまいりました。

藤枝市での候補地選定にあたりましては、先に志太広域事務組合におきまして、藤枝市域からリストアップしました候補地の検討経過を踏まえ、さらに本市といたしまして検討すべき候補地を加え、最終的に数ヶ所に絞り選定を進めてまいりました。

それらの候補地につきまして、

- 1 概ね5ヘクタール程度の用地が住宅移転を要せず確保できること。
- 2 施設の設置により地域の活性化や振興が期待できること。
- 3 土地利用や交通アクセスの面で適合性が高いこと。
- 4 比較的早期に実現の可能性が見込めること。

などの要件をもとに、それぞれの候補地につきまして、慎重な検討を重ねてきたところであります。

その結果、藤枝市といたしましては、地域の発展性、現状の土地利用状況などを総合的に勘案し、また、将来の地域振興への弾みが期待できる地区として、藤枝市の助宗地区を適地と判断し、その旨を志太広域事務組合へ回答することといたしました。

これを受けて、志太広域事務組合の理事会で審議され、正式に決定されるものと考えておりますが、今後、事業を推進するにあたり、地元との調整、施設の内容等につきましても、藤枝市並びに地元の意向が十分反映されるよう取り組んでいく所存でありますので、引き続き議会のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

上)

## 循環型廃棄物処理施設候補地選定経過説明(補足)

循環型廃棄物処理施設の建設候補地選定につきましては、議員の皆様には格段のご理解とご支援をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。

この選定につきましては、今までの経過についてご報告申し上げます。

(※選定過程における具体的候補地名については、それぞれ関係する地元のみなさまへの差し障りが出ることも予想されるので、今回は省略する)

### 1 候補地選定の経緯

新たな処理施設の用地に関しましては、志広組におきまして、平成11年度に全国の事例を参考調査しました結果、施設建設には最低でも2.5ヘクタール以上の面積が必要であるとの結論に基づき、専門のコンサルタント業者に委託し、その用地選定作業を行った経緯があります。

そして、平成13年4月、志太広域事務組合の理事会において、施設の建設候補地を藤枝市内に求めるとの決定を受けて、藤枝市独自の用地選定作業に着手いたしました。

#### ○第1段階

(14ヶ所)

選定作業をはじめるとは、これまでの志広組の選定に係る経過を踏まえ、藤枝市域からリストアップされた候補地とともに、藤枝市独自の候補地を加えて再検討することといたしました。

この段階での候補地の要件としましては、

#### ●第1段階要件

- ア 最低2.5ヘクタール以上の敷地面積が確保できること
- イ 敷地の短辺方向の長さが概ね100メートル以上確保できること
- ウ 地すべり防止区域、急傾斜崩壊区域でないこと。

の3項目が満たされる地域としております。

## ○第2段階

(14ヶ所→5ヶ所)

次に、第2段階として、次の要件に適合する地域を候補地として絞り込み、具体的に搬入道路や幹線道路整備、周辺環境整備等の必要性や実現の可能性等を候補地ごとに検討することとしました。

### ●第2段階要件

- ア 付帯施設や周辺への影響を考慮し、概ね5ヘクタール程度の敷地面積が確保できること
- イ 地域が比較的未開発で、今後の地域活性化が期待出来ること。
- ウ 施設用地として比較的早期に実現可能と見込まれること

## ○第3段階

(5ヶ所→3ヶ所)

そして、第3段階として、この候補地の中から、次の理由に該当する候補地を除外しましたが、残った候補地については、それぞれの地域の発展性を含め、将来的なまちづくりのイメージ等を検討し、藤枝市として施設設置をプラスにする方向での選定をすべきということで、専門のコンサルタント業者に土地利用計画等の策定を委託することとしました。

### ●除外した理由

- ア 山間地の造成は可能と見込まれるが、取り合い搬入路整備が必要であり、その高低差の処理が非常に困難であること。
- イ 既に土地利用計画が事業化されており、市として土地利用の変更を行うことが不適切と判断されること。

## ○第4段階

(3ヶ所→1ヶ所)

最後に第4段階として、残された箇所について、土地利用ゾーニング等の調査を行い、それぞれ将来的な地域発展の可能性を基本に検討を重ねました結果、次の理由により助宗地区を最適地として選定するに至りました。

### ●助宗地区を選定した理由

- ① 処理施設及びその付帯施設を整備するに必要な概ね5ヘクタール程度の用地が確保できる可能性が高い。

- ② 現土地利用の状況から、新処理施設に伴う関連事業等の展開が期待できる。
- ③ 付帯施設の整備や関連事業等の進展に伴い、雇用の場や地域の活性化が期待できる。

などであります。

また、他の候補地を除外した理由としましては、

●除外した理由

ア 軟弱地盤への対応について、技術的には可能であると判断されますが、周辺土地利用を考慮した場合、関連事業等の展開が見込みにくいと判断されること。また、幹線道路整備計画が不透明な状況において、今後の施設整備計画との整合を図るのに困難が予想されること。

イ 周辺の住宅地化が進展し、施設を核にした地域の発展性が期待できず、現状の土地利用との整合が見込めないこと。また、当該用地に別の開発計画があり、それを阻止することは、住民の利益を阻害する恐れがあると考えられること。

などが上げられます。

以上、選定の経過としてご報告させていただきます。

以 上

## 循環型廃棄物処理施設建設候補地の選定について（案）

循環型廃棄物処理施設の建設用地につきましては、志太広域事務組合からの要請を受け、本年4月以降藤枝市において慎重に検討を重ねてまいりました。

藤枝市での候補地選定にあたりましては、先に志太広域事務組合におきまして、藤枝市域からリストアップしました候補地の検討経過を踏まえ、さらに本市といたしまして検討すべき候補地を加え、最終的に数ヶ所に絞り選定を進めてまいりました。

それらの候補地につきまして、

- 1 概ね5ヘクタール程度の用地が住宅移転を要せず確保できること。
- 2 施設の設置により地域の活性化や振興が期待できること。
- 3 土地利用や交通アクセスの面で適合性が高いこと。
- 4 比較的早期に実現の可能性が見込めること。

などの要件をもとに、それぞれの候補地につきまして、慎重な検討を重ねてきたところであります。

その結果、藤枝市といたしましては、地域の発展性、現状の土地利用状態などを総合的に勘案し、また、将来の地域振興への弾みが期待できる地区として、藤枝市の助宗地区を適地と判断しましたので、本日報告させていただきます。

これにより、本理事会におきまして正式に決定をいただきたく、管理者並びに理事の方々のご理解をお願いいたします。

なお、藤枝市が適地と判断いたしました助宗地区は、地元住民の意向を十分に反映したうえでの選定ではありません。今後、事業の推進を図るにあたり、地元との調整、施設の内容等につきましても、藤枝市並びに地元住民の意向が十分反映され、事業が順調に伸展されますよう、関係のみなさまの絶大なるご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。

（以 上）

## 助宗地区への市長・管理者あいさつ 次第 (案)

日 時 12月21日(金) 午後5:00 場 所 助宗公民館

出席者 藤枝市:松野市長、岡崎企画財政部長

志広組:戸本管理者、山田局長

地 元:市議会議員 井沢銚一氏

稲葉第2自治会長 山田操氏

助宗町内会長 森田忠夫氏

助宗町内副会長 大塚<sup>いわお</sup>磐夫氏

助宗町内会役員 他2名程度(未定)

## 次 第 (進行:藤枝市企画調整課長)

## 1 開会 趣旨説明 (西形課長)

循環型廃棄物処理施設建設用地として、助宗地区を正式に候補地としてお願いすることにつきまして、本日、志太広域事務組合で決定させていただきました。

これを受けまして、藤枝市長並びに組合管理者がごあいさつに伺いましたのでよろしく申し上げます。

## 2 藤枝市長あいさつ

ごみ処理につきましては、当助宗地区において過去様々な形で大変お世話になってきているところであり、また、最近におきましても工業団地計画の中止という形で、地域のみなさまに多大な不信感と混乱を与えましたことにつきましては、その後を受けた市長といたしましても大変申し訳なく思っている次第であります。

志太広域事務組合では、現在高柳清掃工場を核としてごみ処理を行っておりますが、「静岡県ごみ処理広域化計画」に基づいて広域的なごみ処理体制を整備するなかで、新たな資源循環型のごみ処理施設を整備する計画を進める必要があり、志太広域事務組合の中で新たな候補地を協議しました結果、現在の施設が藤枝市に設置されている現状か



ら、引き続き藤枝市内で候補地を選定することになりまして、本年4月より慎重に選定作業を進めてきたところであります。

その結果、現状の土地利用実態やこれからの地域の発展性などを総合的に判断し、また、将来の地域振興に弾みが期待できるといった理由によりまして、みなさまの助宗地区が最適地であるという結論に至ったものであります。この結論に至る経過におきましては、地元のみなさま方の意向を十分に反映したうえでのことではありません。

またも、助宗地区へこうした施設を持ち込むのかというご批判も勿論あるかと思いますが、市といたしましては、今までの清掃施設のイメージを一新しました、地域の活性化の核となるエネルギープラントなどとしての施設を目指しており、これからの助宗町内の振興に少しでもお役に立てるようと思ひ決断をしたところであります。

全てのみなさまにご理解をいただきますまでには時間もかかるでしょうし、とりわけ自治会・町内会役員のみなさまには大変なご苦勞をお掛けすることになるかと思いますが、市といたしましても最大限の努力をさせていただき決意でありますので、どうかご理解とご支援をお願いいたします。

3 管理者あいさつ

(案は志広組で検討)

4 地元を代表して

(町内会長と協議のうえ検討)

5 閉会 (西形課長)

本日は取り急ぎ、候補地決定のごあいさつに伺いました。

今日の志広組での決定を受けて、翌日の新聞報道等で地域の住民のみなさまもこのことを知られて、しばらく混乱をされることもあるかもしれませんが、自治会・町内会役員のみなさまと連携を取りながら、一歩ずつ説得をさせていただきたいと考えておりますので、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

本日は報告ということで、以上で失礼をさせていただきます。(以上)